

# やまぐち

5月15日

## 子供が主役

### のびのびと

### 「チビッコ天国」



さつき晴れに恵まれた五月五日、「チビッコ天国」実行委員会主催の「チビッコ天国」が、明治維新百年記念公園を中心に開かれました。

野外活動広場などが子供のために無料開放され、子供が主役と、各種の大会や、自由参加の種目が子供中心に行われました。

昼食時には、芝の上や木陰で親子づれが弁当をひろげ、終日にぎわいました。(写真はグリーンゲームを楽しむ親子)

5月15日～6月14日

## 春の農作業安全運動

農作業の

### 事故が激増

■死者三十八人、ケガ千二百人、これは、過去六年間、県下の農業による事故です。

■最近の農業機械は、高性能で、大型のものが多く、大きな事故をおこしがちで、年々件数は増加しています。

■特に、春の農作業での事故は、トラクターなどの転落、転倒事故が多く、重大事故につながります。

■機械は点検を十分に行い、安全対策に留意し、農作業の事故をなくしましょう。

春の事故

### 重大になり易い

固定資産税・都市計画税

第一期分納期

五月三十一日

までです

# 市制施行五十周年記念式典

## 式辞、挨拶、祝辞集

四月十日に行われました「山口市制施行五十周年記念式典」の様子は、前号で紹介しましたが、当日の市長の式辞、隣長の挨拶のほか、各界の代表の祝辞を次に紹介します。

祝辞は、五十周年のお祝いとともに、恵まれた豊かな自然と歴史情緒のうえに、もっと住みよい地域社会づくりを市民と市行政が一緒になって進める、期待と願い、でいっぱいです。十分味わいたいものです。

### 〈式辞〉

## 二十一世紀に向け、邁進しよう

山口市長 堀 泰夫

百花繚爛と咲き誇り、春風さわやかな今日このよき日に、自治大臣ならびに山口県知事殿をはじめ、来賓の皆様方の御臨席をいただき、市民代表多数の御列席のもとに、山口市制施行五十周年の記念式典を盛大に挙行できますことは、市民の皆様と共に、誠に慶賀に堪えないところでございます。

さらに、今日は、遠くスペイン国より、パンプローナ市長御夫妻のほか、親善訪問団の御一行を当式場にお迎えし、記念式典に錦上添花を添えることができましたことは、この上ない喜びであり、榮譽に存するところでございます。

顧みますと、本市は、昭和四年四月十日、旧山口町と吉敷村が合併し、人口三万二千人、面積四十八平方キロメートルの規模を以って発足したわけですが、その後、五十年を経

過した今日、人口約十一万人、その面積三百五十六平方キロメートルの市に発展し、県下における政治、教育、文化の中枢都市としての位置を占めるに至ったのであります。

この半世紀、我が国は、戦中戦後の厳しい歴史的試練を経て荒廃の中から復興し、世界の先進国として成長を遂げて参りました。その間、山口市は、市制移行後の基盤づくりに衆知を集め、周辺町村の合併を進めると同時に、県都として、行政の充実、社会資本の整備に渾身の努力を傾注して参ったのでございますが、途中、昭和二十年の敗

戦による混乱や、三十年代の財政難による再建法適用等、幾多の厳しい試練を受けたのであります。

しかしながら、その都度、自治省、県御当局をはじめ、関係各方面の御指導よろしきを得ると同時に、歴代市長及び市議会また、市民各層の限りない愛市の念と、たゆまない御努力により、その難関を乗り切つて参りました。

本市のこれまでの歩みの中には、数多くの思い出が残っております。とりわけ、私たち山口市民の記憶に新しいものといえます。天皇、皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、成功裡に開催

されました第十八回国民体育大会や、これに先立つ国道九号線二六二号線等の幹線道路の整備さらに山陽新幹線並びに中国自動車道の開通による交通網の整備をはじめ、本市の産業構造改革のため、松下電器、積水ハウス、その他企業誘致、並びに世界的視野に立つ文化施設ともいうべき国際電々山口衛星通信所の開設、山口市民の最大の関心事でありました県庁の存置確定と共に建設されました県議会棟あるいは県美術館を初とする文化施設、また、市民文化の殿堂であります市民会館の建設、山口大学の統合移転、さら

には、市役所庁舎の移転、山口駅、山口郵便局、山口電報電話局を初めとする各施設の整備等々、躍進する山口への基盤づくりの数々が想い起こされるのであります。

私は、ここに山口市の歩みをふり返り、今日市政を預る者として、感慨一入新たなものを覚え、皆様方に、あらためて深く感謝申し上げる次第でございます。

しかしながら、今、自治体行政は、昨今の社会経済状況を反映し、再び新たな試練の時期を迎えております。

このときに当たり、今日まで先人の残された輝かしい伝統と尊い遺産に、さらに磨きをかけて後世に残すべく思いを新たにしながら、二十世紀に向け、また市制百周年に向かって鋭意邁進しなければならぬと、固く心に誓う次第でございます。

将来の理想都市山口の建設を思うとき、静かな佇まいの内に維新回天の策源地となった、この山口の町のうっ物の気を基調とした風土を大切に守りながら大内、毛利、そして明治時代と続く歴史に裏打ちされた、かけがえのないこの町の情緒と自然を永く後世に残すと同時に、行政、教育、文化等の中枢機能の集積に努め、あわせて流通セン

ターの設置促進、水資源の開発を初めとする生活基盤の整備充実を図り、名実共に県都としての条件整備を強く推進しなければならぬと思ひます。

保存と開発の調和の中で、山口市独自の近代都市像を求め、全力を傾注してこれを実現し、次代に引き継ぐ所存でございます。

折しも、本年は、将来を担う子供たちのため、全人類の願いとして「国際児童年」を設定し世界各地で数々の企画が進められていることは御承知の通りであります。

国際化の進む今日、平和共存の理念のもとに、子孫の将来に思いを致し、国際的友好関係の道を開くため、先般、山口市と歴史的にゆかりの深いスペイン国パンプローナ市を親善訪問いたしましたところ、その願いが理解され、本日の式典に市長御夫妻のほか、御一行の訪問をいただくことができました。

市民の皆様と共に、心から歓迎申し上げ、今後、両市民間の友好と文化の交流が末永く続けられてゆくことを心から祈念致す次第でございます。

終わりに臨み、市制施行五十周年を機に、私たちの唯一無二の故郷であり、大切な生活の場であるこの山口市を、暖かい心のふれ合う、住みよい、そして住みたくなる魅力ある地域社会にするため、御列席の皆様方の変わらぬ御支援、御協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。式辞といたします。

# 豊かな自然、歴史 心のふれあう、住み

〔注〕

職名は、四月十日現在のもの。編集の都合により、小・中学校生の意見発表は、一部割愛させていただきます。



4月10日市民会館大ホールで開かれた市制50周年記念式典

## 〔挨拶〕 心ひそかな誇り

山口市議会議長 重枝経義

市制発足五十周年を迎え、本日ここに盛大な記念式典の挙行にあたり、市議会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

顧みまするに、五十年を遡る昭和四年、当時県庁所在地として未だ町制の名残りをとどめていましたわが山口市が、爾来半世紀の歳月を重ね、漸くその面目を改め、県都山口市として今日の発展を見るに到りましたことは、市民の皆さんと共に誠に感慨深く、且つ、慶賀に堪えないところであります。

この間、市政上、幾多の困難に遭遇しましたが、常に執行機関の懸命の努力と議会の適切な協賛と、加うるに市民の皆さん

のご協力と相俟って都市づくりに着々成果を収めつつありますことを、心ひそかに誇りとする次第であります。しかしながら市行財政の運営にあたり、国は勿論、就中県当局の懇篤なご指導に対し、衷心より感謝の意を表するものであります。

さて、今ここに改めて申し上げるまでもありませんが、私も今日を契機とし、全市民協力一体となって、名実ともに県都として、また学園都市としての都市づくりを邁進する決意を強くするものであります。市民の皆さんとともに、豊かな郷土づくりを祈念して止みません。

〔祝辞〕

## 地方の時代、市の役割大きい

自治大臣 渋谷直蔵

本日、ここに山口市市制施行五十周年記念式典を挙行されるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

山口市が、ここをめたく市制施行五十周年を迎えられたことに、心からお祝いを申し上げます。

山口市は、昭和四年四月に一町一村の合併により市制を施行され、当時は、人口約三万人の都市でありましたが、その後、産業、文化の発展と都市環境の整備等により、山口県の県都としての実力を備え、さらに数度にわたる合併により、政治、文教の都市としての今日の繁栄を築かれたのであります。

もともと山口市は、室町時代には、大内文化はなやかな西の京と謳われ、江戸時代には、毛利藩の藩庁が置かれた由緒ある歴史の都市であります。

この歴史的な伝統と近代都市としての発展によって、昭和の戦前、戦後の激動期のいろいろ困難をよく克服して、今日のお慶びの日を迎えられたのであります。その間の市当局をはじめ市民各位の並々ならぬご努力に対し、深く敬意を表する次第であります。

我が国の経済は、近年、世界にも類をみないほど急激な成長を遂げたのでありますが、石油ショック以来、外においては、

円高、内においては社会資本の立ち遅れ等、その環境はまことに厳しいものがございます。

地方自治の面におきましても地方自治法制定以来、三十有余年の間の住民生活の都市化、行政需要の多様化、増大化など、都市をめぐる環境の変化は、誠に著しいものがあり、また、地方財政の窮乏など様々な困難な課題が生じております。

一方、これからの我が国が進むべき方向は、地域ごとに住み良い生活環境を形成しつつ、国全体として均衡のとれたゆとりある社会を作り上げることです。

そして、これを実現する過程においては、地方自治体、とりわけ市町村の役割が大きくなっ

ており、いまや「地方の時代」ということができるのであります。

幸いにも当市は、国宝をはじめとする数多くの文化財を有し市域全体に及ぶ豊かな自然に恵まれた田園都市としての良好な環境を保ちながら、県都として中枢機能の集積、教育文化の振興などに努力されていると聞き及んでおります。

本日この意義深い式典を契機として、市当局及び市民各位の協力のもとに、その歴史と恵まれた自然を活かされて、新時代の要請に応える理想都市を一日も早く完成されることを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

### 記念式典式次第

- ・ 開式のことば
- ・ 君が代斉唱
- ・ 物故市民への黙とう
- ・ 市長式辞
- ・ 市議会議長あいさつ
- ・ 功労者表彰
- ・ 来賓祝辞
- ・ 自治大臣、山口県知事、山口県議会議長、小澤参議院議員、山
- ・ 閉会のことば
- ・ 口県市長会会長
- ・ 祝電披露
- ・ パンブローナ市長祝辞
- ・ 山口市と私の夢(意見発表)
- ・ 祝吟
- ・ 市民憲章唱和
- ・ 万歳三唱

### 〔祝辞〕

## 県都の発展を期す

### 山口県知事 平井 龍

本日、山口市市制施行五十周年の記念式典が挙行されるにあたり、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

願いますれば、本市は、その昔室町時代に日本文化史上特筆すべき大内文化が華やかに開花し、「西の都」として栄えたものであります。

明治四年、廢藩置縣によつて山口県庁の所在地となり、昭和四年に吉敷村を合併して市制を施行され、爾來半世紀、激動する社会の変遷の中にあつて、その豊かな自然環境と歴史的風土に育まれ、市民相互の融和協調により、山口県の中心都市として着実な発展を遂げてまいりました。

特に近年においては「みどり」と健康と史跡の町づくりをスローガンに、広域圏の構成、生活環境の整備、産業基盤の強化に積極的な施策を講じられるとともに、天与の美しい自然環境と歴史的な文化遺産と相俟つて、県都にふさわしい人間性豊かな都市づくりをめざし、魅力的な都市機能の整備充実に着々とその成果を取られておりますことは誠に喜ばしい次第であります。

また、本市は、スペイン国のパンブローナ市との国際親善交流を進められ、国際都市山口としても大きな飛躍が期待される

この年に、市制施行五十周年の記念式典が挙行されますことはまことに意義深いものでありまして、これもひとえに、市民の皆様、市議会及び市ご当局のたゆまぬご努力の賜でありまして山口県民を代表して深甚なる敬意を表するものであります。

また本日、市政各般にわたる功勞者として、栄えある表彰を受けられました皆様方に対しまして、心からおよろこびと感謝を申し上げる次第であります。

さて、今日の社会経済状況において、地方自治体は、内外ともに極めて厳しい環境の下にあり、地方行政の運営は、まさに転換期にさしかかつておりま

す。

このため、地域におけるさまざまな諸問題に適切に対応するため、私は、県と市町村との連携をより一層緊密にして、県政の推進をはかり、あたたかいふるさとの実現に向かって渾身の努力を続けてまいりる決意であります。

とりわけ、県都山口市の発展は、県勢振興のうえにも極めて重要であり、県市の一体的な相互協力が特に大切でありますので、皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに当たりまして、ご当市が本日のこの記念すべき日を契機とされ、更に県都山口市の新たな歴史創造に向かって、力強く、まい進されまことを深く念願いたしますとともに、関係各位の今後益々のご多幸を祈念いたしまして、お祝いのごことばをいたします。

### 〔祝辞〕

## 市民参加と連帯を深め

### 県市長会長 松岡満寿男(市長)

本日ここに、山口市市制五十年記念式典が挙行されるに当たり、山口県市長会を代表してお祝いを申し上げます。

願いますと、山口市は、昭和四年に市制を施行され、じ來由緒ある歴史的風土の中で、常に政治の中心地として発展を続け

市民の方々の郷土愛によるものでありまして、心から敬意を表します。

ところで今日、地方自治は、「地方時代の幕あけ」といわれるさ中にあり、常に市民の参加と連帯を深め、のぞましい未来を創造していかななくてはならない新しい時代を迎えようとしております。

このようなときにあたり、本日ここに当市が半世紀という長い時を刻み、記念すべきよき日を迎えられたことは、誠に意義深いものがあり、心からお喜びを申し上げます。

今後さらに山口市の個性ある町づくりの中に、やすらぎと生きがいを求め、市民の皆様が英知と総力をあけて、まい進されんことを念願いたします。

また本日、市政のそれぞれの分野にわたりました、栄ある表彰を受けられた皆様方のご功績に対しまして心からお祝いを申し上げます。

最後に、本日の意義深い式典にあたりまして、重ねてお祝い申し上げますと、山口市の一層のご発展と、市民の皆様のご健康を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

### 〔祝辞〕

## 田園都市の中核として

### 参議院議員 小澤太郎

おめでとうございませう。

私は、山口市民の一人といたしまして、山口市が五十歳の誕生日を迎えられたことを、皆様方とともに嬉しく思う次第でございます。

私が学生の頃は、県庁の所在地で唯一の町として、静かな学生をかわいがってくれるいい町でございました。

その後、昭和四年に、市制を施行され、五十年経ちました今日、先程、表彰されました諸先輩をはじめ、関係各位の御努力によりまして、今日のような人口十万を越す、立派な都市になったわけでございます。

しかし、歴史と伝統に根ざす香り高い文化、また、美しい自然のたたずまい、これは昔と少しも変わってはおられません。

自分の愛する市が、このようにな新しさと、そして、ゆかしい古いものを、合わせもっているということ、本日に市民として誇りをもつ次第であります。

御承知のように、政府は田園都市構想というものをもちっております。

これは、一つのビジョンでございますまして、農村、田園のもつあの自然環境、そして豊かな実り、また都市の持つ機能、便利さ、このものを一緒にしまして、さらにその土地に深く根ざす歴史と文化の香りをその中にひっそくめまして、住民の住みよい、豊かな、そして、互いに睦み合う理想的な町をつくりたい、これが願いでございます。

そして、また、今や地方の時代といわれております。地方がそれぞれ特長のある、住民のたのみの発展をするということ、これが願いでございます。

そのようなことを考えますと、この山口市こそは、田園都市の中核として大きな発展をする、豊かな社会をつくるいろいろの要素をもっているわけですから。

このことを私は考えまして、先程、市長さん、知事さんのお話にありましたように理想的なよい町をつくるということ、これが本日に我々としては、この五十年の誕生日を迎えまして、これから、百年、二百年、三百年と将来を考えますとき、その区切りの一つとして、私ども市民の願いでございます。

皆さんともどもに、これからもお互いに手を携えまして、よき市をつくるように、市長さんをはじめ、議会の方々、皆様方をお願いをいたしたいと思っております。

以上、私の願いを込めましてお祝辞とさせていただきますと思ひます。

〔祝辞〕

県都をつくろう

山口県議会議長 吹田 愧

春風うららかな今日の上き日ここに山口市制施行五十周年記念式典が、かくも盛大に挙行されますことは、まことに喜びにたえません。県議会を代表いたしまして、心からお祝いのごことばを申し上げます。

当山口市は、昭和四年に市制を施行され、爾來星霜五十年、西の京として繁栄をきわめた輝かしい歴史と伝統のもと、県都として、また本県の政治、行政、教育、文化の中核都市として、今日のめざましい発展を遂げられたのであります。

これもひとえに、歴代市長をはじめ、市議会議員並びに職員各位のたゆまざるご努力と、十一万市民の県都づくりに対するご熱意の賜であり、ここに深甚なる敬意を表する次第であります。

ご承知のとおり、近年わが国は、高度経済成長から安定成長へと移行し、最も拡大の時代から、質的充実の時代へと新たな転換期を迎えているところであります。

こうした新しい時代の息吹きの中で、住民福祉の向上とみずみずしい人間関係が脈打つ心豊かな郷土を築くためには、時代の進展に即応した施策の展開が要請されるのであります。特に山口市は、百五十七万県

民の県都であり、本県の顔ともいうべき街であります。

県都山口市の発展なくして、わが山口県の発展はありえないと思うのであります。

今こそ、県民と市民が一元となつて、この美しい自然を生かした古都としての文化と近代的な都市としての活力とをおりませた輝かしい県都づくりに邁進しなければならぬと痛感いたしますものであります。勿論、県議会といたしまして

〔挨拶〕

平和と友情の使節

パンプローナ市長 ベラスコ・イリアルテ

パンプローナ市の代表として本日の式典にお招きいただき、これ以上の光栄と喜びはございません。

去る一月、山口市から親善訪問団が、私達のパンプローナ市を遠路わざわざ訪問くださいました。その時、団長の市長さんから、この式典に御招待をいただき、公式に列席させていただいた次第でございます。

堀市長さんの御構想による山口市とパンプローナ市との国際

も、全国に誇りうるすばらしい県都を築き上げるために最大の協力をいたす所存であります。

この意義深い五十周年を一つの節として、限りなく広がる郷土の未来に想いを寄せ、県都山口市の輝かしい躍進のため、このうえとも一層のご尽力を賜わらんことを切に願ひしてやみません。

また、本日栄えある表彰を受けられました方々に心からお祝いを申し上げますとともに、多年にわたるご労苦とご功績に対し、深く敬意を表する次第であります。

終わりにあたり、山口市の今後一層の繁栄と市民の皆さんのご多幸を祈念いたしまして、お祝いのごことばといたします。

多いように思います。

パンプローナ市も近代的な成長と共に、古い伝統を大切にしていま

しかし、将来、大都市になるかどうか、市民全体の幸せを思いますと、これは、現代のパンプローナ市の課題であります。

私たちと同じナバラ人のサビエルの精神は、情熱と平安の調和であります。この精神に捧げた若いサビエルの生涯にこたえて、私達も平和と温かい友情の使節として、今日この式典に参加しているわけでありま

パンプローナ市役所の正門に次のようなナバラ王のカルロ三世の言葉が刻まれております。

「この家の門の扉は、いつも誰のためにも開いているが、それ以上に、われらの心は、皆んなのために開いている」

いま、そのしるしとして、パンプローナ市の市議会議員モエフ氏が、サビエルの地方の誇りとしている言葉「エスケラ語」で、私たちの今の喜びと思いを述べさせていたいただきたいと思ひます。

(以下、モエフ氏の言葉)

「私たちはここに、パンプローナ市の代表として、また、全ナバラ県民の代表として山口市民の皆様へ、そしてまた、山口県民の皆様へ、心からのごあいさつを申し上げます。次に、ドウモ、アリガトウゴザイマス」

さらに百周年に向かって平和と山口の繁栄のために頑張ってください。

これをもちまして、今日の私の祝辞とあいさつを終わりたいと思ひます。どうも、ありがとうございます。

山口市のほこり

伊藤教子(鑄鑄司小)

私たちの住む山口市は古くから栄えた歴史の町です。

市内では、多くの文化財が、大切に今でも保存されております。

これからも、保存は、何百、何千年も続けていかなければいけないと思ひます。

文化財の保存と共に、自然の保護もしなければなりません。たくさんの人口をかかえた日本では住宅地を造るために、都市のまわりの農地や森林

が開發されて、緑地が少なくなりました。

山口市では、人口の増加も少ないために、空気や水のおせんもなく、夏、ホテルがみられるほどです。美しい自然と文化財をいつまでも守っていききたいものです。

しかし、近年、車の交通量が増加し、交通事故や、はい気がが問題となつてきました。

これを防ぐ対策をして山口市のほこりを持ち続けたいと思ひます。

未来の山口市像

松永コヅエ(鴻南中)

多くの歴史的物語を育んだ山口市、決して華やかではありませんが私には最高の町です。

若者が大都会にあこがれるといいますが、私はは理解できません。私は山口市が大都会にならぬことを望みます。自然と調和した穏やかな町並みの方がはるかにすばらしいと思ひます。

緑と水と新鮮な日の光の溢れる町造りを計画しようではありませんか。次に、私の未来の山口

市像に、学校と福祉施設の充実が浮んできます。山口市は、まだまだ、これからいろいろな分野で開けていく可能性もつた土地です。

私達の郷土、山口市の未来を私達の手で、計画的にかえていくのです。伝え育まれた歴史の町、人情の町山口に、今、新しい歴史が生まれようとしています。それは、山口で生まれ育った私達の手で変えられていくのだと思ひます。

# 松くい虫の空中防除

## 今年は、七百五十ヘクタール実施

昨年十月、市の調査によるとマツクイ虫の被害は、マツの山林面積の十八割にあたる二千五百ヘクタールに及んでいます。市でも、昭和五十年からこの防除対策にとり組んでおり、特に五十二年から、国の五か



ヘリコプターに薬品を積み込んで空中防除へ（昨年）

年計画にもとづき、防除対策をすすめています。今年も次のとおり、ヘリコプターによる薬剤の空中散布を行います。防除面積は、年々増え、今年は七百五十ヘクタール、これまでの最

高です。五月下旬ころ、被害木から、通称マツクイ虫といわれるマツノザイセンチュウをたくさん体につけて「運び屋」のマツノマダラカミキリの成虫が健全なマツに飛んでいきます。

この時期に、殺虫剤を散布して、被害を防ぐものです。

- 〔古熊・大内〕 宮野、大内、古熊一帯の山林三百ヘクタール。六月一日、二日、十五日、十六日
- 〔平川〕 平川平野、堂紺一帯の山林百三十八ヘクタール。六月四日、十八日
- 〔鑄銭司・陶〕 鑄銭司畑、陶糸根一帯の山林百五十ヘクタール。六月五日、十九日
- 〔嘉川〕 嘉川東西本郷付近の山林百六十二ヘクタール。六月五日、十九日

× ×  
時間はいずれも午前五時から九時ごろまで。雨天の場合は、順延となります。

実施日時には  
散布地区に立入らない

実施地区には、チラシを配布し、注意をしますが、人畜・自動車には、被害の心配もありませんので、散布日時には実施地区内に立入らないでください。また、ミツバチには、被害がありませんので、必ず安全区域に転飼してください。

### 広域水道事務局が 発足

人事異動  
（四月二十一日付）

▽山口・小郡地域広域水道企業団事務局長 小田文雄（同準備局長）▽同主査 藤井義久（水道局総務課主査）▽同主査 伊藤博明（浄水課浄水係長）

### 水道局人事異動

（四月二十日付）

#### △三等級

▽業務課長補佐（兼）計量係長 金子健治（工務課主査）

#### △四等級

▽浄水課浄水係長 谷口文雄（川西簡水簡易水道係長）▽川西簡水簡易水道係長 倉増良雄（業務課計量係長）▽業務課主任 宮川清治（工務課主任）

# 天ぷら油の過熱火災

## 今年もう四件

### 約5分間で着火点

家庭で使用する大きさのでんぷら鍋を火にかけての場合、約五分で適温の百八十度になります。そこで、冷い品物を鍋に入れておいた間は、油温は上がりませんが、火を切らずにそばを離れると、約五分間で油温は、三百五十度から四百度になり、着火点に達します。そうすると、火をつけなくても、油自体から火を発生させ、猛烈な火柱となつて、燃え上ります。こうした火事が昨年、市内で五件、今年はずでに四件発生しています。食油を加熱しているときは、決してその場を離れてはいけません。離れることは「必ず火事になる」ことを意味します。万一、鍋に火が入ったときは鍋にふたをすれば火は消えます。ふたがない場合、野菜類の投げ込みや、水を浸した毛布で覆うことも効果があります。



市消防本部での食油の発火実験。発火後、一分間で約一層の火柱となります。

# 道一筋の榮譽

## 春の叙勲に

### 山口市民一人が受章

昭和五十四年度の春の叙勲が四月二十九日に発表されました。

山口市関係では、次の八人が受章されました。

〔敬称略〕

〔勲四等旭日小綬章〕 山本重治（71・古熊一丁目）

元公立高等学校長

〔勲五等瑞宝章〕

野村益治（78・下野小路）

元山口地方・家庭裁判所調停委員

〔勲六等単光旭日章〕

熊谷信吉（72・旭通り一丁目）

山口県食品衛生連合会理事 口刑務所副看守長

### 事

〔勲六等瑞宝章〕

長富百合蔵（75・嘉川）元

国鉄職員、山田茂（65・佐山）

元市消防団分団長

〔勲七等瑞宝章〕

岸本森勝（61・宮野）元防

衛庁技官、田中勝（63・葵一

丁目）元山口刑務所副看守長、

吉富英次（63・中園町）元山口刑務所副看守長

### 水道と市民生活

#### 標語を募集

△テーマ▽水道と市民生活に関するもの

△応募資格▽山口市民

△応募方法▽標語を葉書に書いて、五月三十一日まで

に、中央四丁目五十二山口水道局総務課あて送付す

ます。

る。住所、氏名、年令、在学学生は学校名、学年を明記のこと。一人一点に限る。

△入選作品▽最優秀作一点

佳作二点を選ぶ。入選作には賞を贈り、市報で発表し

ます。

風薫り、新緑のもえる五月、家族づれで、ふるさとの緑と文化財を訪ねるハイキングコースを四つ選んでみました。

### 鴻の峯と木戸神社

(約五・三キロ)

(道案内)  
市営バス……県庁前下車0.4山口大神宮0.6天の岩戸0.4出城跡(テレビ中継所)0.3高嶺城本丸跡2.6木戸神社1.0下清水バス停



バス停から西方の正面が山口大神宮。大きな石の鳥居をくぐって石段を登り、ジグザグの石段を二十分位で天の岩戸。天の岩戸から十分位で出城跡に出ます。中継所から西方の山道を登って行くと、本丸跡の山頂。山頂から引き返し、糸米林道を下ると木戸神社。

(7)

山口大神宮は約四百五十年前に伊勢から神霊を勧請して創建

ハイキングには、火の用心とゴミの持ち帰りに気をつけて。

された古社で、内宮、外宮や、多賀神社、石敢当などがあります。

### 竜蔵寺と毛利墓地

(約五・八キロ)

(道案内)  
市営・国鉄バス……吉敷出張所前下車0.7吉敷招魂社0.2玄済寺1.3竜蔵寺1.3成瀬仁蔵旧宅



## 新緑と文化財探訪

### ご家族でいかがです

気持ち良い汗を流し、家族での昼食は楽しい(鴻の峯)

1.2周防四の宮0.4四の宮バス停

バス停から西方、七百坪の左手が吉敷招魂社、すぐ近くが玄済寺。さらに西方、山あいを行きついた所が竜蔵寺。成瀬旧宅へは、竜蔵寺から引き返し、良城小学校の東側から北へ、五百坪。四の宮へは、国道三七六号へでて、北へ約一・一キロ。

(見どころ)

招魂社は、幕末維新以後、国事にたおれた人の碑があり、玄済寺は、吉敷毛利家の菩提寺、毛利歴代の墓があります。竜蔵寺は、大樹が多く、全山新緑の景観はみもの。つづみの滝の清流も。イチョウの大樹は天然記念物。このほか、雪舟の絵馬や、雪舟庭といわれる庭。四の宮の右方、川にのぞんだ絶壁は、吉敷の赤壁といわれる絶景です。

水八幡宮。八幡宮から大杉は東へほぼ一直線、高倉山の北側ふもとにあります。

(見どころ)

日吉神社参道の東側に日吉古墳、石段を上ると、湯田・山口市街の遠望が楽しめます。

平清水八幡宮は、室町時代初期、神社建築としては、県下最古のもの、本殿両側に置かれた狛犬は、松の一本造り、約六百年前のものです。

大杉は周囲約八・五坪、樹高三十五坪の老樹。天然記念物。

### 大岩・五重の塔と海への眺望

(約六・八キロ)

(道案内)  
市営バス……岩屋下バス停0.3地蔵院1.0靈光院5.0(この間バスの便あり)朝日山1.6二島小前バス停

### 平清水八幡宮と大杉

(約五・五キロ)

市営バス……山口大学前下車0.3日吉神社1.7平清水八幡宮1.4大杉1.1神郷バス停

山大前バス停から北東にみえる小高い丘が日吉神社。山口大学の正門前から神郷バス停へ、これより東へ約一キロで平清

朝日山山頂からは、瀬戸内海を望むことができ、海への眺望が楽しめます。

## 市民短歌

〔俳句〕

国本いさお選

吾子叱る声春風に乗りに去る

中本光江(吉敷)

老鷹の啼き沈めたる夕陽影

吉富忠雄(仁保)

晩春の風が操るアドバールン

野田美津子(大内)

愛犬の香が纏いつく春裕

清水美枝(平川)

惜春の雨日もすがら厨ごと

光永ふさ子(平川)

風薫る若き大工はラジオかけ

伊藤寿賀(嘉川)

わが住まい跡芥菜の花おごる

井手鶴江(錦町)

友の声聴かむと活けし藪椿

小林みどり(吉敷)

〔川柳〕

金子たけし選

課題 父

母の死後父は黙々酒を呑み

福永正一(折本)

風邪ひいた父は子供を寄せつ

けず 谷口知子(大内)

晩酌へ追加がほしい父の顔

品川清一(陶)

父の部屋宿題持って知恵を借

り 熊丸文字(矢原)

南極から帰った父の不精髭

小川佐二郎(折本)

母子家庭つらい父親参観日

唐崎貞子(錦町)

嫁ぐ朝顔の父にも礼を言い

大野紋人(中園町)

叱られた通りに叱る父となり  
河村寛隆(穂積町)

選者吟

〔短歌〕

友広 保一選

春雨の海に向いて言葉なく陸

奥記念館の庭に佇ちたり

岡部はるさ(仁保)

寺の庭の巨き一樹は山桜流る

ごとく花を散らせり

山本茂美代(仁保)

善哉という漢字がほしく辞書

をひく言葉かがよう五月の窓

べ 杉野良一(堂の前)

老人と名の付く会に入りにつ

り嬉しくもあり悲しくもあり

西村由江(二島)

登り来て寺の濡縁におみくじ

を二人でひけば二人とも吉

塩分を控えし日々今日のみ

は梅干し欲りて丸ごとひとつ

高田志津子(湯田温泉)

病癒えて日々歩む朝の土手

川風に乗り桜散り来る

飯田晴江(大内)

小さくても心満ちる二人し

て力合せて建てし家なれば

原田八重子(白石)

### 投稿歓迎

俳句、短歌は「当季雑詠」川柳は「母」、ハガキに住所・氏名を明記して、山口市亀山町二―一山口市役所広報課へただし、作品は一人三句、三首以内のこと。締め切りは、五月三十一日。入選は六月十五日号市報に発表します。

山口文化バスの会

毛利氏の郡山城跡へ

- ・日時 6月10日午前7時出発
- ・目的地 近世毛利氏発祥の地・郡山城跡(広島県吉田町)
- ・見学地 御里屋敷(三矢の訓史跡) 一元就火葬地跡一洞春寺・常栄寺跡 一隆元墓地一元就墓地一毛利一門墓地一百万一心碑石一城跡
- ・募集人員 90人
- ・会費 大人 3,500円、子供・身障者 2,500円
- ・講師 内田伸氏
- ・申し込み 6月2日までに、葵2丁目市交通局内、山口文化バスの会事務局へ。定員になり次第、締め切りなお、雨天中止、当日、弁当、水筒は必ず、持参のこと。

県住宅供給公社(吉敷・稲葉団地)

分譲住宅の購入者募集

- ・戸数 木造、不燃組立て等住宅58戸(宅地231~324㎡、建物面積79~103㎡)
- ・価格 約1,420万円
- ・融資 住宅金融公庫約560万円、積立金補足融資300万円、老人憩の間につき住宅には、約180万円
- ・申し込み 6月1日~8日(土曜日の午後、日曜日を除く)午前10時~午後4時、後河原県住宅供給公社(山口図書館横) ☎2-2876へ

珠算能力検定試験

- ・日時 6月24日午前9時から
- ・場所 山口高校
- ・資格 制限なし
- ・受験手続き 所定の申込書で、受験料をそえ、6月4日までに、中央4丁目5-16山口商工会議所 ☎5-2300へ

山口県警察官募集

- ・資格 短大を除く大学卒業者で、昭和26年10月2日から32年4月1日までに生れた男子
- ・試験 一次 6月10日県警察学校(滝町)
- ・受験手続き 所定の申込書で、6月2日までに、最寄りの警察署へ。詳細は、警察署、駐在所、派出所へ

火災情報 消防本部

区分	種別				計
	建物	林野	車両	その他	
4月発生件数	4	3	1	3	11
今年累計	14	9	1	9	33
4月発生原因	たき火の不注意、草焼きの不注意、天ぷら油の過熱、風呂たきの不注意、調査中				

市制50周年記念

市民短芸大会 26日に開く

○日時 五月二十六日午後零時三十分開会。投句締切りは、午後一時三十分

○会場 市中央公民館

○参加資格 市民か、市内に職場がある人で、当日会場に参加した人

○部門と題  
。俳句 当季雑詠  
。二句  
。川柳「夢」二句  
。短歌 雑詠 二  
。投句は、一部門のみ

○表彰 作品は当日互選のうえ、各部門とも、市長賞・天・地・人・佳作賞を、参加者全員に参加賞をおくる。

宮野三本松に

山口宮野テレビ局開局

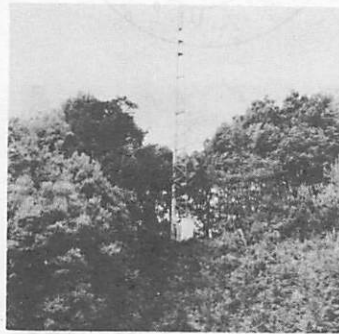
NHKでは、宮野上三本松に、電力〇・五ワットの「山口宮野テレビ局」を五月三十一日に開局の予定です。

チャンネルは、総合テレビ五十九、教育テレビは六十一です。

この放送局は、石丸、龍花、床夏、岩川、七房の約三百七十世帯に、UHFの電波を使ってきれいな映像を送るものです。

この電波を受信するには、UHFアンテナを放送局に向けてたててください。

くわしいことの間い合わせは、NHK山口放送局 ☎二二八五〇へ。



宮野地区の難視聴を解消するため、建設されたテレビ局

父子・母子家庭へ  
就学・就職支度金  
がでます

父子・母子家庭(父および母または父母がいな世帯)の児童・生徒が小・中学校に入学したとき、または中学校を卒業し進学、就職したときは、次のとおり支度金が支給されます。

対象は市内に住所があり、生活保護世帯を除き昭和五十三年度分所得税が課税されていない人で、金額は一人一万円です。該当の人は、六月三十日まで

消費者の対応を勉強

消費生活センター(葵二丁目)では、今年も五月から来年度まで月一回「消費生活一日教室」を開きます。

開催日は、毎月第三水曜午前十時から正午まで、身近な商品の上手な買い方、使い方を専門コンサルタントや県職員などの講師に学ぶものです。

受講料は無料。申し込みは、受講日の一週間前までに、葉書

消費生活一日教室

に市役所福祉課または各出張所で手続きをしてください。

消費生活センター ☎山口四〇九九九へ。

または、電話で同センターへ。テーマやくわしいことは、県消費生活センター ☎山口四〇九九九へ。

山口の環境を考える会の集い

- ・日時 5月19日午後1時30分から
- ・会場 センタービル(中央3丁目)
- ・テーマ 人間活動と河川の汚染
- ・くわしいことは、山大学教養部人間環境論研究室 ☎2-6111内線577
- ・エスペラント入門教室受講生募集
- ・期間 6月10日午後1時開講、10月まで毎月第2・4日曜日開く
- ・場所 中央公民館
- ・内容 エスペラント語の会話の初歩から国際文通まで
- ・主催 山口エスペラント会
- ・申し込み 5月31日までに、市中央公民館 ☎2-0381へ

防犯の標語を募集

- ・テーマ 「空き巣の防止」「自転車盗の防止」
- ・応募 自作、未発表のもので、葉書に1標語を書いて、5月31日までに滝町1-2山口県警察本部防犯少年課へ。住所、氏名、職業(学校名)、年令を明記のこと
- ・表彰 一般、児童・生徒の部につきテーマごとに優秀作品3点

モラロジー(道徳科学)講習会

- ・日時 5月21~25日、いずれも時間は、午後7時~9時30分
- ・会場 山口市民会館小ホール
- ・講師 矢野巖、湯本忠夫
- ・経費 受講料2,000円、テキスト代350円(希望者のみ)
- ・申し込み 三和町11-36山口モラロジー事務所 ☎4-2620へ

一の坂川生活学校生の募集

- ・暮しの問題を考えあうグループ。対象は市内に住む婦人。例会は、毎月第3金曜日午前中。会費は年1,000円。希望者は中央公民館 ☎2-0381へ

ママさんコーラス花泉会会員募集

- ・練習日 毎週水曜日午前10時から
- ・場所 白石1丁目宮崎清子先生宅
- ・歌の好きな女性ならどなたでも。申し込みは、☎2-7436亀永まで

交通事故状況

公害交通課

種別	4月	累計	
		本年	昨年
発生件数	46	167	173
死亡者	0	1	5
重傷者	8	17	15
軽傷者	50	202	183